

病害虫防除技術情報第5号

平成 23年 6月 22日

三重県病害虫防除所

**葉いもち初発は6月第5週頃からと予想されます。
早期発見・早期防除に努めましょう。**

1. 対象作物： イネ
2. 対象病害虫名： いもち病（葉いもち）
3. 発生状況

巡回調査圃場（6月第2週）および広域防除員調査圃場（6月5日）では、一部の置き苗において発生が確認されました。また一般圃場では、6月第3週頃より本田で初発が確認されており、現在は平年並の発生状況です。

いもち病発生予測支援システム（ブラスタム）によると、6月17日から19日にかけて、県内の広い範囲で感染好適条件が現れたことから（下表）、6月第5週以降、県内各地の圃場で病斑が現れ始めると予想されます。

いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)による葉いもち発生時期の予測

2011年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿
6/17	●	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	●	●	—	—	○	○	●	●	●	—	—
6/19	●	—	—	—	—	—	—	—	—	●	●	●

● :好適条件（葉いもち発生の好条件が全て満たされた。）

○ :準好適条件(葉いもち発生の条件が一部満たされた)

— :好適条件・準好適条件は満たされなかった。

※ブラスタムは、気象台提供のアメダス気象データを基に、葉いもちの発生時期を予測するシステムです。

凡例●で示された感染好適日から7～10日後に病斑が現れます。

週間天気予報（6月21日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう1週間は曇りや雨の日が多い見込みです。今後の気象状況に注意してください。

4. 防除対策

- 1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。
- 2) 補植用置き苗は発生源となるので、すみやかに取り除いてください。